

- (2) 入札書、委任状には業務名及び計画場所をこの広告の記載に従い記入すること。
- (3) 代理人が入札を行う場合で、委任状の提出がない場合は、入札に参加することができない。なお、委任状は代理人の印では訂正できない。

6 契約保証金

契約を結ぼうとする者は、建設工事請負契約書第 4 条の定めるところにより、契約保証金を納めなければならない。ただし、有価証券等の提供又は銀行、契約担当者等が確実と認める金融機関若しくは保証事業会社（公共工事の前払金保証事業に関する法律（昭和 27 年法律第 184 号）第 2 条第 4 項に規定する保証事業会社をいう。）の保証をもって契約保証金の納付に代えることができ、公共工事履行保証証券による保証を付し、又は履行保証保険契約の締結を行った場合は、契約保証金を免除する。

7 工事費内訳書の提出

本工事は、全ての入札参加者に対して第 1 回目の入札に際し、第 1 回の入札書に記載される入札金額に対応した業務費内訳書の提出を求める。ただし、以下の点に留意すること。

- (1) 工事費内訳書の様式は自由であるが、記載内容は最低限、作成年月日、工事名、工種、種別、細目に相当する項目に対応するものの単位、員数、単価及び金額を明らかにし、商号又は名称並びに住所を記載するとともに、代表者印を押印すること。
- (2) 発注者は、提出された工事費内訳書について説明を求めることがある。

~~8 入札の辞退~~

~~申請書の提出後、都合により入札を辞退する場合には、入札締切日時の前までに入札辞退届を持参又は郵送により提出すること。また、同一の技術者を重複して複数業務の配置予定技術者とする場合において、落札決定までの間に他の業務を落札したことにより、配置予定技術者を配置することができなくなった場合には直ちに報告すること。~~

9 入札の無効

本広告に示した競争参加資格のない者のした入札、申請書等に虚偽の記載をした者のした入札及び入札に関する条件に違反した入札は無効とする。

10 開札の日時

令和 3 年 4 月 23 日（金）午前 10 時予定

11 落札候補者の選定及び事後審査の実施

開札後、落札決定を保留し、予定価格と最低制限価格の範囲内で有効な最低の価格をも